

写真 左から順に
上段 マテバシイ、コナラ、アラカシ
下段 クヌギ、シラカシ



第19回
ドングリクッキー

キャンパスの樹木の果実の中で、ドングリは最もよく知られているものの一つである。

生田キャンパスにはドングリのなる木が5種生育している。落葉のコナラ、クヌギ、常緑のシラカシ、アラカシ、マテバシイである。ドングリは見たところ、どれもおいしそうである。

このあたりの雑木林でドングリのなる木として最も普通なのはコナラである。研究室の学生に雑木林で樹木の名前を聞かれたら、コナラと答えれば半分以上当た

ると教えることにしている。我が家の子どもがまだ小さい時に、妻が絵本(「木かげの家の小人たち」)に書いてある小人のレシピのとおり、コナラのドングリを使ってクッキーを焼いてくれた。おいしそうにみえたものの、実際には渋くて食べることができなかった。

妻は、近年になってから、マテバシイのドングリを使って、クッキーを焼くようになった。こちらは渋くなくて、おいしい。西三田団地のみた・まちもりカフェで小学生に食べてもらったら、みんな喜んで食べていた。販売されているドングリクッキーで、材料が明記されているものはマテバシイのドングリを使っている。マテバシイはドング

リが大きいので効率的に集めることができるというメリットもあるのであろう。

渋いドングリと渋くないドングリは樹種によって決まっている。キャンパス西部の雑木林には森林性のノネズミが生息しているが、どのドングリを食べているのだろうか。

(ドングリの範囲については人によって違いがあり、ここでは、クリとスダジイを除いている。)

(農学科 応用植物生態学研究室 倉本 宣)